



# AI 応用による医療 福祉機器システム

Keywords ニューラルネットワーク, 画像処理, 医療福祉, 目視判断, 知的システム

## 01 本研究の適用分野・用途

- 介護士、看護師の目視による安全確認及び残食計測分野
- 曖昧な人の動作の挙動認識分野
- 医者の判断や薬剤師の判断の支援分野
- 薬剤の透明な袋詰め目視監査分野

## 02 アピールポイント

- 人の行動は曖昧である。  
人の目分量は曖昧である。  
カメラの画像とAIで対応できる。
- ・福祉向上機器  
→ 起床検知システム
  - ・福祉向上機器  
→ 食事摂取量計測システム
  - ・検査業務の自動化  
→ 薬剤監査システム

### 研究概要

人の行動は曖昧です。しかしながら、誰しも特定の刺激に対しては似たような傾向を示します。これをAIの学習能力でその傾向を予測・判断することができます。

例えば院内でのベット上での安全に就寝しているか危険な状態にあるかの予測ができます。

食事はその食べ方は色々です。しかしながら、カメラで撮影した画像から残食量がわかれば、そして、それを栄養素(カロリー、糖分、脂肪など)に換算できれば摂取量の管理ができることとなります。

